



大いちょう

平成30年 8月28日
さいたま市立高砂小学校

高砂小学校だより 平成30年度 No. 5

048(829)2737

体験をとおして

校長 並木 昌和

夏休みが終わり、今日から2学期の始まりです。元気な子どもたちの声が学校にもどってきました。

今年は平成22年度以来の猛暑、いや、災害級の酷暑と報道され、熱中症の患者さんの増加や記録的な豪雨の被害を受けた地域のニュース、台風の度重なる上陸と本当に荒々しい夏が際立ちました。被災地の皆さんが一日も早く元通りの生活にもどることが出来るようになることを願ってやみません。何も無いように、何も起こらないようにと心がけ、準備をしても悲しいことが起きてしまうことがあるのが現実です。2学期になってもまだまだ暑い日が続きます。子どもたちの健康管理に十分留意して教育活動を進めていきたいと思えます。

2学期は、運動会を始め校内音楽会、持久走大会、校外学習、地域の皆さんとともに絆を深める「高砂まつり」など多くの行事が予定されています。様々な面で保護者・地域の皆様にはお力添えをいただかなければなりません。どうかよろしく願いいたします。

さて、2学期の子どもたちの顔が1学期とどこことなく違って見えるのは私だけではないと思えます。これは、長い夏休みの間にいろいろな体験をして大きな成長をしたからでしょう。もちろん、その成長の度合いはその子がどんな体験をどのくらいし、どんな思いを抱いたか等で、個人差も大きいと思えます。体験は、子どもの感性や思考力を育てるのに非常に重要です。体験することそのものに大きな価値があります。体験を改めて見直し、体験で得た価値あるもの、その後の考え方や生き方に生かすことができれば、さらに意義ある体験とすることができます。このような考えから、夏休み中に学年に応じた課題を与えています。夏休み中の課題は、豊かな体験の機会であり、その成果はその後の生活を切り拓く手掛かりになるものです。豊かな感性や思考力を育てる上で、体験や自分の行動を振り返ることもたいへん重要なことです。振り返ることにより新たな気づきを生み、さらなる成長を促すからです。自分の体験や生活を振り返り、自分の思いをはっきりもつことは、とても意味のあることです。将来の夢や希望も、こうしたことの積み重ねの中から、育まれていくものだと思えます。今学期の教育活動は、子どもたちがその子らしい夢のもてる教育活動が多くなります。

今学期も教職員一同力を合わせて頑張ってまいります。今学期もご支援ご協力をよろしくお願い致します。